

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人ぶろぼの ぶろぼのスコラ新大宮		公表日		令和8年 3月 9日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3		適切ですが、外出イベントなど利用が多い場合、安全性を考えて法人内の他事業所職員が応援に入ることもあります。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		運動スペースと創作やITのスペースを分け、荷物置き場や備品の位置が一目で分かるように工夫している。フラットでフロアを端から端まで見渡せる造りのため移動がしやすく、職員の目が行き届く構造。個室もあるので休憩が取れる環境を整えています。エレベータ完備。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日の掃除を行い清潔に保っています。活動に合わせてフロアの中央でガラス張りの扉で仕切ることができます。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3			個別対応の人数が多い場合は個室の数に限りがあります。その場合は他のフロアに移動していただくか、離れた場所で過ごしてもらうように環境は整えています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		会議や振り返り、共有システムで情報共有し、広く職員が参画できるように努めています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		年1回評価表の確認を行い、次年度の業務改善に努めています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		月1回の法人内の職員研修や、外部研修に参加する機会を確保しています。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		5領域に則った支援プログラムを適切に作成、公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		6カ月に1回面談を行い、ニーズや課題を客観的に分析した上で作成しています。状況に合わせて6カ月未満でも必要な方には面談を実施しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		日々職員間で情報共有を行い、共通理解の下で最善の利益を考慮した検討を行っています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		計画書作成後は計画の内容を共有し、計画に沿った支援を行っています。			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		法人独自の評価項目を設定し、ツールを用いたフォーマットがあり、記録を残せるようになっています。また日々の日報により行動観察も残しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		週ごとにプログラム内容を変更しています。長期休み期間はお仕事体験プログラムなど多岐に渡るプログラムを実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		事前に打ち合わせを行い、役割分担の確認やその日の利用者の状況や支援の方向性の確認を行い、連携した支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		3		職員の勤務時間の15分前まで開所しているのでその日に打合せをする時間がありません。翌日に実施しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		独自のシステムへ日々の記録を取ることを徹底し、支援の検証、改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		半年に1回程度、モニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3			すべて組み合わせていますが、地域交流の機会の提供における、ボランティア活動は行っていません。その他公共施設の利用や地域行事への参加はイベントと組み合わせ実施しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		日々のプログラムや遊びの中で、お子様自身が「何をしたいか」「どの方法で取り組むか」を選択できる場面を意図的に設けています。集団生活の中で自分の意思を表明し、納得して参加できるよう支援しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		当事業所では送迎を行っていないため、学校と直接顔を合わせる機会は限られていますが、日常的な共有については、お子様の状況や支援上の必要性が高いケースにおいて、学校側への聞き取りや情報交換を随時実施し、関係機関と足並みを揃えた支援に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		3		中学生からの利用開始が主であるため、就学前施設との直接的な連携機会は限られますが、契約時のインテーク（聞き取り）において、これまでの療育履歴や支援内容を保護者様より詳細に共有いただいております。

関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		卒業後の円滑な移行に向け、移行先事業所に対して必要な支援情報の提供を行っております。個別の状況に合わせ、対面での申し送りや詳細な聞き取り対応を実施し、一貫した支援体制が維持できるよう努めています。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		中高生の特性に合わせた社会性向上のための活動を優先しており、児童館等との交流は実施しておりません。今後は社会福祉協議会等とも連携し、ボランティア活動や地域行事への参加など、より実社会に近い形での交流機会の拡充を目指してまいります。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		お子様の状況を迅速かつ正確に共有するため、独自の連絡システムを活用しています。写真や文章でその日の取り組みを可視化することで、言葉だけでは伝わりにくい発達の変化も共有し、保護者様との共通理解を深めています。また、システム上でいつでも過去の記録を振り返ることができるため、中長期的な課題の推移についてもご家庭と一緒に確認し、一貫性のある支援の提供に繋がっています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			保護者会や保護者向け講演会を実施しています。		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			利用開始時に丁寧にお伝えし、ご不明な点はお連絡をお願いし、丁寧な対応を心掛けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3			保護者会や茶話会を年数回開催し、保護者間のネットワーク作りや情報共有を支援しています。	きょうだい児の交流機会については今後の検討課題ですが、まずは保護者支援を充実させることで、ご家庭全体の安定した生活をサポートできるよう努めています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			利用契約時に、法人内、第三者委員、事業所でも苦情の受付をしている旨伝えてあります。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			SNSやHP等を活用し、情報発信や共有をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3				
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3					

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		今年度については、プログラム運営の都合上、地域住民の方々を招待する行事の実施には至りませんでした。 過去には機会に応じた地域交流の実績があり、また法人全体としては事業所内でのバイオリンコンサート開催など、地域に開かれた活動を推進しております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		年2回避難訓練及び、防災に関する知識を学ぶ機会を設けています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		重要事項説明書にて保護者に周知しています。また避難訓練を行い、その際家族に共有しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			